

逗子の景観まちづくり

瓦版 第五十一号

平成二十八年四月十五日

編集 逗子市環境都市部まちづくり課

協力 NPO法人逗子の文化をつなぎ広め深める会

募集 逗子の景観スケッチや六百五十字以内の

景観に関するコラム等を募集しています。

二四九・八六八六

逗子市逗子五丁目二番十六号

「逗子市まちづくり課 瓦版係」

電話 〇四六・八七三・一一一一

ファックス 〇四六・八七三・四五二〇

machi@city.zushi.kanagawa.jp

「池子の森自然公園」へ

三月十九日、週末だけの限定で、池子の森自然公園が開園。翌日の日曜日、さっそく友人と連れだって散策してきました。わたしが「逗子」を初めて意識したのは池子の森を守



「トンネルを抜けるとそこは・・・」 絵 桜山のS (26歳)

る市民運動で、もちろん自分が逗子に住むとは考えたこともなく、テレビのなかの遠い世界のこととして見ていた記憶があります。のんびりと住宅地を歩き、久木側の出入り口から、池子の森に初めて足を踏み入れました。少し歩くと、芝生の広場が目に入ります。広場というより、原っぱと呼びたい景色が広がっています。ヨシの茂みの向こうには小さな池。この日は生物の姿を見ることができませんでしたが、メダカやクロヨシノボリがいるそうです。外来種の魚は現在のところ確認されておらず、これは東京近郊では貴重な池。水面を覗きながら、「ミドリガメや金魚や熱帯魚を放しちゃだめだよ」と、思わずつぶやくのでした。さらに行くとおぼろげな家や休憩のできるベンチとテーブルもあります。そのうちに立ち入り制限のフェンスに突き当たったので引き返し、散策路に向かいます。入口あたりの苔が前日の雨を吸ってみずみずしく輝いていました。ときおり急なところもありましたが、十五分ほどの遊歩道は緑にあふれています。なんとも気持ちのよい散歩となりました。池子の森はその歴史から、約七十年のあいだほとんど人の手が入っていないそうで、見渡せ



「自然を楽しむ学べる公園」 絵 永橋 為成

ばだれもが懐かしいと感じられる風景が残っています。いつまでも原っぱは原っぱのまま、森は森のままであってほしいものです。池子の森の四季折々の樹木や花、生き物など自然を学ぶ勉強会や観察会が開催されれば、ぜひ参加したいなあ。

文 及川 佳寿美

2016
4月号

これからも瓦版をよろしくお願ひします 今年度から年4回の発行になります

平成24年から発行してきた瓦版は、平成27年12月の50号発行を記念しまして冊子になりました。それ以降はしばらくお休みしておりましたが、今年度から、年に4回のペースで発行していきます。これまでご愛読いただいていた皆さま、また初めて手に取られた方も、引き続き瓦版をお楽しみいただけますようお願いいたします。冊子は、まちづくり課にて無料配布しています。



逗子の景観に関するコラムやスケッチを募集しています。あなたの好きな逗子の景観をお寄せ下さい。

いただいた作品は瓦版やfacebookで紹介させていただきます。※コラムは600字～650字程度でお願いします。

瓦版ギャラリー・フォーラム報告

平成28年1月30日～2月5日にかけて、文化プラザギャラリーにて瓦版の展示会を行いました。



総勢約450名の方にご来場いただき、スケッチとコラムで描いた瓦版をご覧いただけました。

ご来場いただいた方からは、「朗読のボランティアをされていて、朗読会で活用している」、「行ったことが無い場所もあるので、瓦版に描かれている場所に行ってみよう」、「絵や文なら、現在は既になく風景も蘇らせることができる」、「絵は自分も書けるので、参加してみたかった」と嬉しいお声をいただきました。

また、2月6日にはフォーラムを開催しました。

逗子市長も参加して、瓦版の取組みや、瓦版の協力団体による活動報告、逗子の好きな景観、魅力、アピール方法について、班ごとにグループディスカッションを行いました。

逗子の魅力をアピールするためには、「景観だけでなく、経済等も含めて総合的な取組みを考える必要がある」、「川や緑など軸を活かして景観の魅力を発信したい」などといった意見がだされました。瓦版としてできることは何か、みなさんとともに考えていきたいと思ひます。



私の逗子の歩き方

- 商店街の道路舗装 -
銀座通り商店街の歩道改良工事が行われています。慣れ親しんだ赤茶色のイメージを守り、歩き易さとメンテナンス性を兼ね備えたインターロッキング舗装になっています。

逗子鎌倉合同 親子景観セミナー

タイムスリップ体験！～逗子鎌倉の歴史景観ツアー～

昨年11月に雨天中止となった親子景観セミナーを3月末に開催しました。法性寺をスタートし、鎌倉市の旧華頂宮邸まで、小学生と保護者合計50名でクイズを解きながらまち歩きをしました。



瓦版の編集担当は 逗子市環境都市部まちづくり課

逗子の景観まちづくり

検索

クリック！

電話：046-873-1111 FAX：046-873-4520 Mail：machi@city.zushi.kanagawa.jp

瓦版のバックナンバー・瓦版冊子は逗子市庁舎一階、まちづくり課窓口、市民交流センターに配架しています。逗子市HP、逗子の景観まちづくりフェイスブックにもアップしていますのでご覧ください。